

学校だより

令和6年12月6日

# ふれあい

No.10

編集発行

上越市立春日小学校

校長 田邊 道行

## 150周年記念式典ありがとうございました

11月22日に、春日小学校創立150周年記念式典が上越文化会館で挙行されました。記念事業実行委員の皆様をはじめ、地域の皆様、保護者の皆様、旧教職員や関係者の皆様のおかげで、素晴らしい式典となりました。ありがとうございました。

150周年記念事業実行委員会は、今年度になってから具体的な活動を始めました。半年の間に準備を進め、当日の運営までしっかり行っていただきました皆様に重ねて感謝申し上げます。

実行委員の方が作ってくださった動画や学校が作った動画を保護者の皆様に限定配信いたしました。本日、配信を終了しますが、この1週間で2,500を超えるアクセスがあり、皆様にご覧いただいたことをうれしく思います。

この6年間は、感染症への対策もあり、1年生から5年生までの子どもたちは卒業式のような儀式的行事に参加することがありません。子どもたちが、厳粛な場におけるマナー等の規律や気品のある行動の仕方などを身に付けて参加し、儀式に参加してよかったと感じられるような式典にしたいと教職員一同が願っていました。そして、当日、子どもたちの参加態度や全校合唱は、素晴らしいものとなりました。

週が明け、11月26日の朝に全校集会がありましたので、子どもたちに次のように話しました。

### とても清々しい

先週、春日小学校創立150周年記念式典がありました。私は、式典に参加している皆さんの姿をステージの上から見ていて、とても素晴らしいと感じました。そして、全校合唱「はじまりの歌」で、文化会館のホールに響き渡った皆さんの声に感動しました。さらに、校歌は、おうちの方や地域の皆さん、これまで春日小学校で勤務された先生方と、ここにいる皆さん全員で声を合わせて歌い、最高に盛り上がりました。その様子を見て、私は、このような気持ちになりました。「とても清々しい」という文字を提示して)読めますか。…この漢字は「すがすがしい」と読みます。

「清々しい」という言葉は、心地よい気持ちや爽やかな感じを表す言葉で、気候や風景、人の態度や行動に対して用います。例えば、春の新緑や秋の澄んだ空気を「清々しい」と表現することもありますし、人が素直で誠実な態度を示したり、困難を乗り越えて達成感を感じたりするときにも「清々しい」と表現します。あの日、外は雨が降っていましたが、皆さんの態度や歌声は、とても清々しいものでした。そう感じさせてくれた皆さんに感謝します。ありがとう。



## どうして春日を「かすが」と読むの？

さて、今日は、春日小学校の「春日」について皆さんに話したいと思います。まず、「春」を提示) この字は何と読みますか。「はる」ですね。「シュン」と読むこともできます。「日」を提示) では、この字は何と読みますか。「ひ」ですね。「ニチ」「ジツ」「か」という読み方もあります。しかし、この2つの漢字には、「かすが」につながる読み方はありません。普通に読めば「はるひ」というとても聞きやすいよい響きなのですが、なぜこの2文字で「かすが」と読むのでしょうか。

今から1400年も前に作られた和歌が集まっている日本で一番古い歌集「万葉集」を見てみると、いろいろなことが分かります。

和歌には、ある言葉を表す前にお決まりの言葉を置く習慣がありました。それを枕詞(まくらことば)と言います。例えば、光や天気には「ひさかたの」という枕詞があります。神には「ちはやぶる」、母には「たらちねの」、山には「あしひきの」…というように様々なものがあります。その中に、地名に付けられる枕詞がありました。「なら」という地名には「あおによし」、「やまと」という地名には「あきつしま」、「あすか」という地名には「とぶとり」というように、地名の前に付けられたのです。「飛ぶ鳥の明日香」といつも読むうちに、「飛鳥」と書いて「あすか」と読むようになりました。そして、いよいよ「かすが」です。「かすが」の枕詞は、「はるひ」でした。「はるひのかすが」と読むうちに、「春日」と書いて「かすが」と読むようになったと言われています。

### 枕詞(まくらことば)

ひさかたの	光・天気
ちはやぶる	神
たらちねの	母
あしひきの	山
あおによし	奈良
あきつしま	大和
とぶとりの	飛鳥
はるひの	春日

## 「かすが」はどんな意味？

万葉集に、「はるひをかすかの山のたかくらに・・・(山部赤人)」という和歌が出てきます。「はるひ」は「春の日差し」や「春の一日」を意味しますが、「かすが」はどのような意味なのでしょう。

上越市で歴史や文化にとっても詳しい方一人である上越市歴史文化指導監の中西聡さんが11年前に、「か」と「すが」を分けて説明しています。\*「か」は「か弱い」「か細い」のように、「とても」と強めるときに使います。そして「すが」は「清々しい」という意味だそうです。すると「かすが」は、「とても清々しい」という意味になります。この地域は遠い昔から「とても清々しい」場所であったことを「春日」の名が物語っているのです。

150周年を迎えた春日小学校は、1400年も前の「かすが」の思いを今に感じさせる記念式典になりました。皆さんに感謝して今日の話が終わります。

かすが → か + すが  
か = とても  
例: か弱い・か細い  
すが = 清々しい  
すがすが

\*春日村の思い出「春日村歌をうたう会」創立十周年記念誌, 2013, p16

いじめ見逃しゼロ強調月間の取組

# いいね「ありがとう」「笑顔いっぱい」



## 「ハートフル♡メッセージ」の取組

全校で「ハートフル♡メッセージ」に取り組みました。学級や学年の友達やかけはし班の友達と、お互いを認め合うメッセージを交換しました。「歌が上手だね」「掃除をがんばっているね」「遠足するとき、楽しく話をしてくれてありがとう」「遊びに誘ってくれてありがとう」等。

何気ないやり取りから、相手にしてもらったことに感謝し、がんばりを見付けて伝えている様子が、微笑ましかったです。



## 春日中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会に参加

いじめは命の問題。今から約 30 年前に春日中で起きた辛い出来事を忘れないよう、毎年 11 月 27 日に開催される中学校区のいじめ見逃しゼロスクール集会に 5・6 年生が参加してきました。6 年生の代表者は、春日小のかかわる活動について、堂々とした態度で発表してきました。「相手の気持ちを考えず苦痛を与える心無い行動は、いじめ。そんな行動を許さない、勇気をもってかかわる」と「絆宣言」をしてきました。春日小でも、一人一人がいじめに負けない、温かくて強い学級を作っていけるよう、取組を進めていきたいと考えています。

# 安全で楽しい冬休みを

## ～ 家庭でも「いいね」「ありがとう」楽しいふれあいを ～



12月24日～15日間の冬休みが始まります。

家族で過ごすゆったりした時間に、お子さんのがんばってきたことや成長を褒めてあげてください。「またがんばろう」「次は〇〇に挑戦だ!」と、新たな抱負をもつことができることでしょうか。自分の話を、顔を見てゆっくり聞いてもらったり、受け止めてもらったりすると、人とかかわることに自信をもつための土台になっていきます。

安全で楽しい冬休みになるよう、お子さんに合ったご支援、ご協力をお願いいたします。

### 見守りのお願い ～トラブルから守るために～

- ①規則正しい生活のリズム（夜更かしの習慣化の防止、深夜 SNS の防止）
- ②交通安全（飛び出しや自転車事故の未然防止）
- ③スマートフォン・インターネットやゲーム機の使用は、保護者の責任で
  - ゲームやインターネット、LINE やチャットは、家の人と約束を決めて使う。
  - ⇒やってよい時間や、アクセスしてよいものを決めて、守っているか見守る。
  - \*ゲーム時間の目安は、1日30分以内と言われています。
  - ⇒人を傷つけたり迷惑を掛けたりする行動を、絶対にしないよう見守る。
  - (例：写真や個人情報の勝手な利用、悪口や中傷、仲間外し等をしないこと)
  - ⇒内容を見られてもよいようにさせましょう。「いつでも見るよ」と伝えておく。
- ④金銭の使い方・使い道（金銭の持ち出し、課金の未然防止）